

令和4年度千葉県海岸漂着物組成調査の概要

1 調査目的

千葉県の海岸において、長期的かつ継続的に海岸漂着物の組成や存在量を把握し、さらに、それらの経年変化を把握する。

2 調査方法

調査は環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和2年6月第2版）」[※]に基づき行い、富津市布引海岸（R4. 10. 27-28）、旭市九十九里海岸・中谷里（R4. 11. 18）で実施した。 ※データシートは、漂着ごみ組成調査データシート（令和3年10月第3版）を使用。

3 調査結果

(1) 大分類別（材質別）の組成等

布引海岸は九十九里海岸・中谷里と比べて、重量でおよそ950倍（個数比5.8倍、容積比470倍）の漂着物が確認された。

漂着物の組成を見ると、両海岸とも自然物が多数あり、人工物に限定すると布引海岸では木（木材等）が、九十九里海岸・中谷里ではプラスチックが過半数を占めた。

分類名	布引海岸（富津市）			九十九里海岸・中谷里（旭市）		
	重量/kg	組成比	(参考) 自然物を除いた組成比	重量/kg	組成比	(参考) 自然物を除いた組成比
プラスチック	5.970	0.3%	11.3%	0.902	38.2%	77.8%
発泡スチロール	0.079	0.0%	0.1%	0.002	0.1%	0.2%
ゴム	0.239	0.0%	0.5%	0.016	0.7%	1.4%
ガラス、陶器	0.492	0.0%	0.9%	0	0.0%	0.0%
金属	1.181	0.1%	2.2%	0.219	9.3%	18.9%
紙、ダンボール	0	0.0%	0.0%	0.002	0.1%	0.2%
天然繊維、革	9.184	0.4%	17.4%	0.015	0.6%	1.3%
木（木材等）	35.500	1.6%	67.4%	0	0.0%	0.0%
電化製品、電子機器	0.038	0.0%	0.1%	0	0.0%	0.0%
その他	0.020	0.0%	0.0%	0.004	0.2%	0.3%
自然物	2196.220	97.7%	-	1.200	50.8%	-
合計	2248.923			2.360		

図1 大分類別の集計結果（重量）

※報告書では、個数、容積についても集計。

(2) 言語表記等

両海岸ともに海外製と考えられる漂着物はあまりみられなかったが、その中で中国・台湾、韓国と推定される漂着物が少量確認された。

表記言語	布引海岸（富津市）				九十九里海岸・中谷里（旭市）			
	ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子		ペットボトル		ペットボトルのキャップ	
	個数	組成比	個数	組成比	個数	組成比	個数	組成比
日本（漢字、ひらがな、カタカナ）	38	77.6%	0	0.0%	3	100.0%	10	83.3%
中国・台湾（漢字）	3	6.1%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
韓国（ハングル）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%
不明	8	16.3%	1	50.0%	0	0.0%	1	8.3%
合計	49		2		3		12	

図2 言語表記等調査結果

※布引海岸ではペットボトル、九十九里海岸・中谷里では漁業用の浮子の漂着はみられなかった。

(3) プラスチックごみの組成

プラスチック及び発泡スチロールに分類された漂着物の組成比及び上位品目は以下のとおり。両海岸ともに容器包装が多数見られた。

プラ分類	布引海岸（富津市）		九十九里海岸・中谷里（旭市）	
	個数	組成比	個数	組成比
海域由来	86	23.2%	26	25.7%
製品	76	20.5%	16	15.8%
容器包装	192	51.8%	45	44.6%
その他	17	4.6%	14	13.9%
合計	371		101	

図3 プラスチックごみの組成比

	布引海岸（富津市）			九十九里海岸・中谷里（旭市）		
	プラスチックごみの種類	個数	プラ分類	プラスチックごみの種類	個数	プラ分類
1	ボトルのキャップ、ふた	93	容器包装	ロープ、ひも（漁具）	18	海域由来
2	食品の容器包装	48	容器包装	その他プラスチック袋	16	容器包装
3	ロープ、ひも（漁具）	45	海域由来	ボトルのキャップ、ふた	13	容器包装
4	ストロー	36	製品	カップ、食器	9	製品
5	食品容器	25	容器包装	その他	9	その他

図4 プラスチックごみの上位5品目

※報告書では、重量についても集計。

(4) 過年度との比較

令和4年度の調査結果を令和2年度・令和3年度と比べると、布引海岸では自然物が顕著に増加し（下図には非掲載）、人工物の木（木材等）は最も大きい値となった。大雨により陸から流れ出した流木や木（木材等）が、台風で押し戻されて海岸に集積した可能性がある。また、九十九里海岸・中谷里では自然物・人工物ともに大幅に減少した。

変化の原因や継続性については、継続的な調査による検討が必要と考えられる。

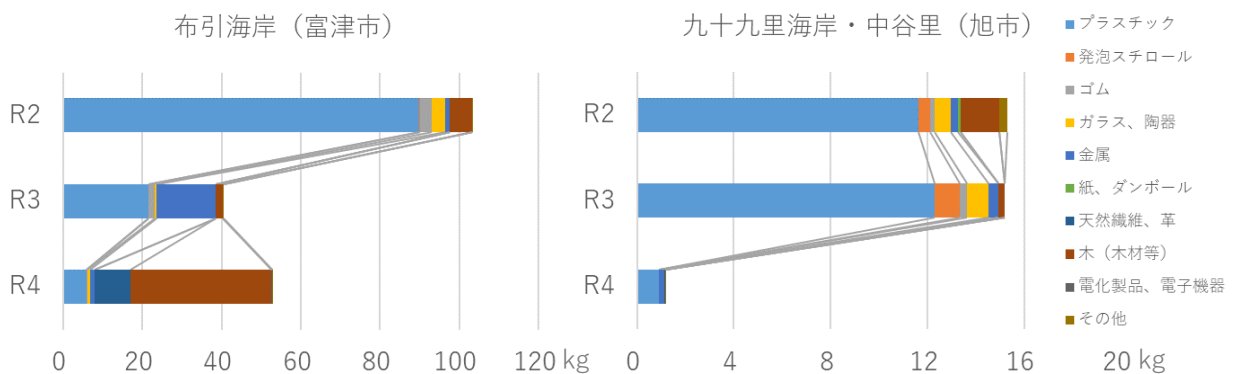


図5 令和2～4年度調査における自然物を除く漂着物の集計結果（重量）

※報告書では、個数、容積についても集計。

本資料（概要）は報告書の一部を抜粋・編集したものであり、詳細については報告書を参照のこと。